

- ◎特集 1 / 富士山の世界文化遺産登録迫る！
- ◎特集 2 / 平成 26 年度インターハイの開催に向けて準備を進めています！
- ◎特集 3 / 夏休みの県立施設イベント情報！

- 「ザ・読解力」で子どもたちと楽しく考える授業を！
- 平成 26 年度 山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項について
- 博学連携の取り組み ～文学館とともに～
- ミュージアム甲斐・ネットワーク / 笛吹市青楓美術館、河口湖ミュージアム・与 勇輝館
- らくがき 県立甲府西高等学校 渡辺和弘 教諭
県立甲府支援学校 手塚雅仁 教諭
- 考古博物館「わたしたちの研究室」作品を募集します
- 学校紹介 / 富士川町立増穂南小学校、県立身延高等学校
- 総合教育センター情報 / 「教職員の資質向上に資する研修会を目指して」
- 新教育委員長・新教育委員就任挨拶
- 三枝昂之さんが県立文学館の館長に就任しました
- 山梨の文化財 / 県指定文化財 海道前C遺跡土坑出土品
- 主な行事予定



富士山の世界文化遺産登録迫る！

— 学術文化財課・義務教育課 —

■これまでの歩み

山梨・静岡両県及び関係市町村は、日本人にとってかけがえのない宝物である富士山を、人類共通の財産として未来に引き継いでいくため、富士山の世界文化遺産登録を推進してきました。

平成十九年一月に、ユネスコの世界遺産候補である「世界遺産暫定リスト」に登録され、平成二十四年一月には、日本政府から推薦書がユネスコに提出されました。

山梨県では、平成二十三年十二月に制定された条例により、二月二十三日が「富士山の日」として定められ、普及啓発活動が積極的に行われています。

昨夏には、ユネスコの諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）により富士山の保存管理等についての現地調査が実施され、本年四月三十日、イコモスから「登録」の勧告がユネスコに対して行われました。

■世界遺産の仲間入りへ

本勧告を踏まえ、六月十六日から二十七日にカンボジアで開催される「世界遺産委員会」において登録の可否が審議されることとなります。

平成二十五年五月現在、「世界遺産条約」（昭和四十七年採択、平成四年日本締結）に基づき、世界には、九六二件（文化遺産七四五、自然遺産一八八、複合遺産二九）の世界遺産があります。

我が国にも、古都京都の文化財（平成六年

登録）や厳島神社（平成八年登録）など十二の世界文化遺産と屋久島（平成五年登録）や小笠原諸島（平成二十三年登録）など四の世界自然遺産がありますが、今般、富士山が登録された場合、我が国の十七番目の世界遺産となります。

■山梨県に関係する構成資産

構成資産は、両県にわたりますが、山梨県に関係する構成資産は次のとおりです。

- ・富士山城（山頂の信仰遺跡群、吉田口登山道、北口本宮富士浅間神社、西湖、精進湖、本栖湖）
- ・河口浅間神社
- ・富士御室浅間神社
- ・御師住宅（旧外川家住宅、小佐野住宅）
- ・山中湖
- ・河口湖
- ・忍野八海（出口池、お釜池、底抜池、銚子池、湧池、濁池、鏡池、菫蒲池）
- ・船津胎内樹型
- ・吉田胎内樹型



本栖湖からの富士山



■富士山の魅力に迫る

富士山の世界文化遺産登録を目前に控え、県立文化施設では、富士山をテーマにした展示を行なっています。



葛飾北斎「富嶽三十六景」より「甲州三坂水面」 県立博物館所蔵

県立博物館は、「赤富士」で知られる「凱風快晴(がいふうかいせい)」をはじめ、世界的にも有名で貴重な江戸時代の富士山の浮世絵版画である葛飾北斎の「富嶽三十六景」の作品全四十六点を所蔵しています。

北斎は季節、天候、時間、眺める場所を変えてさまざまな富士の表情を江戸時代の富士

を見る人々の生活とあわせ、卓越した発想による構図と技術で表現しました。

この中には、御坂峠から見た富士山と河口湖に映った逆さ富士を描いた「甲州三坂水面」や、深い山々の間から富士山が見える「甲州犬目峠」、鯉沢と富士山を組み合わせた「甲州石班沢(かじかざわ)」など山梨県内から見た富士山も含まれています。

これらの作品全四十六点を「北斎の富嶽三十六景」展として六月十五日(土)～七月八日(月)の期間展示します。

また、県立考古博物館では、富士山に関連する遺跡からの出土品を紹介する企画展「日本一の富士山」展を七月十三日(土)～九月一日(日)、プレ展示を六月十九日(水)～七月十二日(金)の期間開催します。

県立文学館でも、万葉集の歌や、太宰治の「富嶽百景」、草野心平の詩など、文学に描かれた富士山の魅力を紹介する特設展「富士山と文学」を七月七日(日)まで開催中です。

県立文化施設で、信仰の対象・芸術の源泉富士山の魅力を感じてください。

世界遺産推進課富士北麓分室では、富士山を世界の宝として未来へ伝えていくため、学校などで富士山を学んでいた多く出前講座を実施しています。詳しくは、富士北麓分室(〇五五五―七二―四一三三)へお問い合わせ下さい。

■ふるさと山梨郷土学習コンクール

小・中学校の学校教育においても、富士山をテーマにした取組を行っています。

山梨県のすべての子どもたちに、郷土への関心を深め、郷土を愛し、郷土への誇りをもてるような心情を育むことを目的に、郷土学習コンクールを実施しています。

昨年度は、郷土への関心をさらに高めるため、山梨に住む私たちにとって、特に関わりの深い「富士山部門」を新しく設けました。その結果、百二十一点の作品が寄せられました。左の資料は、その作品の一部です。

今年度も六月に、郷土学習コンクールの募集要項を配付しますので、積極的な参加をお願いします。



中学校「富士山部門」優秀賞受賞作品より

特集 2



平成二十六年インターハイの開催に向けて準備を進めています！
— 全国高校総体推進室 —

平成二十六年夏に南関東四県（山梨県、千葉県、東京都、神奈川県）で全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が開催されます。平成二十三年度からはブロック別の開催となりましたが、本県では、単独で実施した平成八年度以来の開催となります。

本県には、各都道府県の厳しい予選を勝ち抜いた選手・指導者約一万人のほか、延べ十五万人を超える観客が集う予定です。来県される方々を「おもてなしの心」を持って迎え、本県の魅力を発信しながら心に残る大会となるよう受け入れ態勢を整えていきます。

☆総合ポスターが完成！

総合ポスターが完成しました。シンボルマークは、平成二十三年度に募集した県立甲府西高等学校の柳本薫さんの作品です。今後は、各学校や公共施設等に掲示し、大会をPRしていきます。



☆競技会場・日程が決定！
平成二十五年四月十九日、公益財団法人全国高等学校体育連盟の会議「全国高等学校総合体育大会中央委員会」において、大会の競技会場・日程が承認され決定しました。山梨中銀スタジアムで行われる陸上競技を皮切りに、平成二十六年七月三十日から八月十日までの十二日間にわたって、八競技を七市二町の延べ二十会場で開催します。

平成26年度全国高等学校総合体育大会
競技会場・日程（山梨県開催8競技）

競技種目	会場地市町	競技会場	7月														
			30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
陸上競技	甲府市	山梨中銀スタジアム	★	●	●	●	■										
卓球	甲府市	小瀬スポーツ公園体育館								●	●	●	●	■			
		小瀬スポーツ公園武道館							○	●	●	●	●				
サッカー (男子)	韮崎市	韮崎中央公園陸上競技場			○	●	●	●			●	●					
		韮崎中央公園芝生広場				●	●	●			●	●					
		韮崎市宮御助使サッカー場				●	●	●									
	甲府市	山梨中銀スタジアム														■	
	北杜市	長坂総合スポーツ公園				●	●										
	甲斐市	敷島総合公園多目的運動場				●	●										
ポート	富士河口湖町	河川湖漕艇場	○	●	●	●	■										
		山梨県立白根高等学校第二運動場			○	●	●	●	●	■							
自転車競技	富岡市	境川自転車競技場								○	●	●	●				
		富岡市周回待合ロードコース															■
ホッケー	南アルプス市	山梨県立白根高等学校第二運動場			○	●	●	●	●	■							
	甲府市	山梨学院ホッケースタジアム				●	●	●									
ウエイトリフティング	山梨市	山梨市民総合体育館			○	●	●	●	■								
カヌー	富士河口湖町	精進湖カヌー競技場								○	●	●	●	■			

(参考) 他都県の開催競技

都県	実施競技数	競技種目
千葉県	8競技	水泳、バスケットボール、ソフトテニス、バドミントン、柔道、空手道、アーチェリー、少林寺拳法
東京都	7競技 総合開会式	体操、バレーボール、サッカー(女子)、相撲、弓道、テニス、なぎなた
神奈川県	8競技	ハンドボール、ソフトボール、新道、レスリング、登山、ボウリング、ヨット、フェンシング

☆競技種目別大会会場地担当教員の紹介
平成二十五年四月から、会場地市町実行委員会において八人の先生方が競技種目別大会の開催準備に当たっていますので紹介します。

☆高校生生活活動の展開
大会の主役である県内の高校生が、多くの感動や達成感を味わうことができるよう、「する・観る・支える」活動に積極的に取り組んでいます。

昨年度は、県生徒実践委員会を設立するとともに、各学校においてポスターの作成や学校新聞でのPR等に取り組みました。

今年度は、各学校や地域のイベント等におけるPR活動、三〇〇日前カウントダウンイベントの開催、平成二十五年度インターハイの視察等の取り組みを計画しています。各学校の支援連絡会委員の先生方を始め、皆様方の御協力をよろしく願います。

- 陸上競技 前田 裕孝先生 (農 林) ▽甲府市
- 卓 球 荒木 裕治先生 (笛 吹) ▽甲府市
- サッカー (男子) 六水 史彦先生 (甲府昭和) ▽韮崎市
- ボート 大神田治雄先生 (富士河口湖) ▽富士河口湖町
- 自転車競技 勝俣 誠先生 (富士北麓) ▽笛吹市
- ホッケー 小早川幸夫先生 (白 根) ▽南アルプス市
- ウエイトリフティング 山浦 伸吾先生 (日 川) ▽山梨市
- カヌー 塩澤 寛治先生 (富士河口湖) ▽富士河口湖町

平成26年度 全国高校総体について

大会結果 ポート部、全国大会出場!

部活動紹介 弓道部

(吉田高校)

山梨インターハイ開催!

373生活

(甲府南高校)

平成26年度 全国高等学校総合体育大会

甲府一高新聞

(甲府第一高校)

☆競技・運営役員及び補助員の編成
大会の運営に当たって本県の教職員・生徒の皆さんには、競技運営役員(教職員)約一千六百人、補助員(生徒)約二千五百人に参画していただく予定です。今後、第二・三次編成作業を経て、来年度に向けて態勢を整えていきます。大会の成功に向け、本県の教職員及び生徒の力を集結していきたいと考えています。

公式ホームページ

<http://www.2014soutai.jp/>

2014 総体

検索

【問い合わせ】

全国高校総体推進室

TEL 055-223-1640

夏休みの県立施設イベント情報！

— 学術文化財課 —

県立美術館

「近代自然主義絵画の成立

オランダ・ハーグ派展 バルビゾンへの憧れ、ゴッホの原点」

(7月13日(土)～8月25日(日))

19世紀、オランダのハーグに画家たちが集まり、「ハーグ派」と呼ばれました。彼らは近郊の田園や農村の風景を清新な表現でとらえました。本展は、約70点の作品により、日本で初めて「ハーグ派」を紹介します。7月20日(土)には「キッズ・プログラム ぶらっとアート」を開催します。このほか、みんなでつくる美術館ワークショップ展覧会も開催します。申し込み、詳細についてはお問い合わせください。

〈TEL. 055-228-3322〉



ヤン・ヘンドリック・ヴァイゼンブルフ《ハーレルムの風景》
ハーグ市立美術館蔵

Collection Gemeentemuseum Den Haag, The Hague, The Netherlands



県立博物館

「山梨の近代人物と鉄道」展

(7月20日(土)～9月2日(月))

明治36年(1903)6月11日に東西の大動脈・中央線が甲府まで開通してから今年で110年を迎えることを記念し、中央線のあゆみや、日本の鉄道発展に貢献した山梨の人々を紹介します。当時日本最長の笹子トンネル工事からリニア中央新幹線まで、地域間交流や流通の発展に果たした鉄道の役割とその未来について、様々な角度から感じていただきます。会期中はリニアモーターカーの体験乗車もできます。

〈TEL. 055-261-2631〉

県立考古博物館

「日本一の富士山」展

(7月13日(土)～9月1日(日))

日本一高い山、富士山と、山梨に暮らす私たちは昔から深く関わってきました。さまざまな出土品をとおして、日常の風景にある山としてだけでなく、人々の信仰を集め崇拝の対象とされてきた富士山の姿を探ります。このほか、勾玉作りやトンボ玉作り、火起こし体験、拓本体験など、さまざまなイベントを開催する予定です。展示を見るだけでなく、実際に体験して考古学に親しんでみませんか。

〈TEL. 055-266-3881〉



県立文学館

「あそぶぜ! かいけつゾロリのおたのしみ大さくせん

～原ゆたかとゾロリのなかまたち～

(7月20日(土)～8月25日(日))

原ゆたかの児童書「かいけつゾロリ」は、1987年に発行以来子どもたちに大人気のシリーズです。ゾロリの楽しい世界を紹介します。会期中、作者・原ゆたか先生のお絵かき教室、サイン会を開催します。申し込み、詳細についてはお問い合わせください。

〈TEL. 055-235-8080〉



©原 ゆたか/ポプラ社

夏休みフリー
パスポート

夏休みフリーパスポートをご持参いただければ、県内すべての小中学生は7月10日(水)から8月31日(土)の間、県立美術館・博物館・考古博物館・文学館の全ての展示を何回でも無料でご覧いただけます。

夏休み
自由研究
プロジェクト

今年も7月15日(月)の海の日にアイメッセ山梨において開催します。

夏休みと言えば「自由研究」。調べ方や調べる内容が思いつかない子どもたちの悩みに加え、先生方も「アドバイスが難しい」など悩みが尽きないことでしょう。そこでご活用いただきたいのが博物館施設です。県内の美術、歴史、科学、自然など様々な分野の博物館施設が集まってワークショップを開催し、自由研究や工作のヒントを提供します。

県立図書館

「夏休み自由研究お助け教室」(7月25日(木)・26日(金))

自由研究で悩んでいる人は、ぜひ参加してください。

「中高生フレッシュコンサート」(8月20日(火))

音楽をとおして、心も体もリフレッシュ。県内の中学生・高校生によるコンサートを満喫してください。アメリカ公演帰国直後の高校生も出演予定です。
(TEL. 055-255-1040)



県立科学館

特別展 「科学館deキモダメシ」 7月20日～8月25日

天文関係 「スターライトツアー」 7月12日(金)

「ペルセウス座流星群を見よう」 8月12日(月)

実験工作関係 8月5日(月)

「リフレッシュ理科教室(理科実験工作研修会)」

特別展として子どもさんが体験できるものから、先生方へのリフレッシュ理科教室(研修会)など、夏休みを利用して科学について理解を深めていただくための企画を考えています。
(TEL. 055-254-8151)

※リフレッシュ理科教室申込は、教育センターをお願いします

県立八ヶ岳少年自然の家

「サマーキャンプin八ヶ岳

～たっぷり楽しむテント生活2泊3日～(8月1日～3日)

「夏の森キャンプ

～家族そろってテントで過ごそう1泊2日～(8月10日～11日)

豊かで雄大な自然の中、体験活動をとおして「生きる力」を養い、また家族で過ごすことでコミュニケーションを図り、絆を深めるイベントを予定しています。
(TEL. 0551-48-2306)



県立なかとみ青少年自然の里

「親子体験スクール」～ヤマメ釣りとそば打ち～

(7月6日(土)～7日(日) 1泊2日)

対象：小学校3年生～6年生とその保護者

内容：ヤマメの里での釣り体験とそば打ち体験・試食

自然いっぱいのなかとみ青少年自然の里。いろいろな体験ができますが、この夏、親子で体験してみませんか。
(TEL. 0556-42-3181)

県立ゆずりはら青少年自然の里

「さとやま長期キャンプ」(8月18日(日)～23日(金) 5泊6日)

対象：小学校4年生～6年生

内容：川遊び、山登り、野外炊事、自然散策、地域散策など

ゆずりはら青少年自然の里では、5泊6日のキャンプを計画しています。長期の休みならではの貴重な体験ができます！
(TEL. 0554-67-2333)



『ザ・読解力』で子どもたちと楽しく考える授業を！

社会生活にいきる読解力向上推進事業 ～ 義務教育課 ～

はじめに

県教育委員会では、平成二十年度より六年計画で本事業に取り組んでいます。これまでに、県内の公立小・中学校に、読解力育成のための冊子『ザ・読解力』を作成・配付し、その活用を奨励しています。

- ・平成二十一年四月 中学校二年生
- ・平成二十二年四月 小学校五年生
- ・平成二十四年四月 小学校四年生

また、平成二十三年四月には、教師のために『読解力向上のための実践事例集』（小・中学校版）も作成し、配付しました。

◇「読解力」とは？

元来「読解力」という言葉は、「文章に書かれている内容を正しく読み解く力」のことをさしています。しかし、ここでいう「読解力」は、OECD（経済協力開発機構）が行っている国際テストの領域であるリーディングリテラシーを訳した言葉です。

この力は、目的をもち、文章だけでなく図表などの資料から情報を集め、批判的に考えながら、自分の考えを表現するまでの力で、国際的には、これからの社会に必要な学力だとされています。

『ザ・読解力』で付けようとしているのは、この新しい「読解力」であり、生きてはたら

く国語の能力、とりわけ論理的思考力を育て、テキストを解釈し、熟考・評価して、自らの考えを表現する力をさしています。

具体的な目標は次のようなものです。

- ① 様々な文章や資料を理解・評価しながら読む力
 - ア 目的に応じて理解し、解釈する力
 - イ 評価しながら読む力
 - ウ 課題に即応した読む力
 - エ 多様なテキストに対応した読む力
- ② テキストに基づいて自分の感じたことや考えたことを簡潔に書く力
 - ア テキストを利用して自分の考えを書く力
 - イ 日常的・実用的な言語活動に生かす書く力
 - ウ 自分の感じたことや考えたことを簡潔に書く力

注 * テキスト：文章だけでなく、図表や絵画、写真、数式、音楽なども含みます。

◇『ザ・読解力』（中学校二年生版）の内容

平成二十五年四月に、中学校新一年生向けに、冊子を配付しました。

この冊子は、学校の授業のなかで、一人で、グループで、クラスでそれぞれの「課題」に取り組める形になっています。

例えば、今回配付した中学校一年生版では、

○縄文時代と弥生時代、幸せなのはどちらなのか考えてみよう。（社会）

○50m走のタイムから均等な二チームに分けよう。（数学）

○日本各地の民謡を聴き、日本の音楽の特徴を考えよう。（音楽）

など、各教科で教科書を中心に学習した基礎的・基本的な知識・技能を活用して解決できる課題としました。また、社会の中で目にする出来事を対象としていますので、子どもたちも楽しんで取り組めると思います。



詳しくは、義務教育課HP内の国語力向上推進事業HPを御覧ください。指導演やワークシートもダウンロードできます。

<http://www.ypec.ed.jp/gimukyo/kokugo/kokugo-index.html>

おわりに

現在、教師のために、読解力向上を目指した授業づくりの参考となる資料の作成をすすめており、平成二十六年度に発行する予定です。ご期待ください！

平成二十六年山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項について

— 新しい学校づくり推進室 —

山梨県教育委員会は、去る五月九日に平成二十六年入学者の選抜に関する基本事項を公表しました。

一．全日制前期募集

① 検査方法

面接のほか、各高校が定める作文、特技、個性表現のいずれかを併せて実施します。

② 出願期間

平成二十六年一月二十二日(水)から一月二十四日(金)

③ 検査期日

平成二十六年二月四日(火)、五日(水)

④ 入学許可予定者の内定日

平成二十六年二月十日(月)

④ 入学許可予定者の発表

平成二十六年三月十三日(木)

④ 入学許可予定者の発表

平成二十六年三月十三日(木)

三．全日制再募集

① 検査方法

面接のほか、作文又は新たに行う学力検査を実施します。

② 出願期間

平成二十六年三月十三日(木)から十七日(月)

③ 検査期日

平成二十六年三月十八日(火)

④ 入学許可予定者の発表

平成二十六年三月二十日(木)

五．定時制再募集

① 検査方法

再募集に当たっての学力検査及び面接を実施します。

② 出願期間

平成二十六年三月十八日(火)から三月二十四日(月)

③ 検査期日

平成二十六年三月二十五日(火)

④ 入学許可予定者の発表

平成二十六年三月二十七日(木)

一 全県一学区です。

二 「前期募集」と「後期募集」の二度の受検機会があります。

三 「前期募集」では、自分の興味・関心、特性を生かした受検ができます。

四 「後期募集」では、志願先高校に普通科、専門教育学科又は総合学科が設置されている場合、志願する学科のほかに第二希望まで志望順位を付けることができます。

四 「後期募集」では、志願先高校に普通科、専門教育学科又は総合学科が設置されている場合、志願する学科のほかに第二希望まで志望順位を付けることができます。

二．全日制後期募集

① 学力検査

国語、社会、数学、理科及び英語(リスニング含む。)を実施します。

② 出願期間

平成二十六年二月二十日(木)から二月二十四日(月)

③ 検査期日

平成二十六年三月六日(木)

四．定時制入学者選抜

① 検査方法

学力検査及び面接を実施します。

② 出願期間

平成二十六年二月二十日(木)から二月二十四日(月)

③ 検査期日

平成二十六年三月六日(木)、七日(金)

六．その他

① 詳細については、別に定める「平成二十六年山梨県公立高等学校入学者選抜実施要項」によります。(十月下旬公表予定)

② 平成二十六年入試の募集定員は、中学校卒業予定者の進路希望調査などを考慮し、十一月下旬に決定する予定です。

平成二十六年入学者選抜の概要は次のとおりです。

博学連携の取り組み

文学館とともに

県立文学館

「文学館をもっと身近に感じてほしい」
「文学館を学習の一部に取り入れ、学校生活をより豊かなものにして欲しい」そんな願いを込めて、文学館から博学連携のいろいろなかたちを提案しています。

○リーディングシアター

新学習指導要領では、子どもたちの言語活動の充実が重視されています。各学校では、教育活動全体を通じて取り組んでいることでしょう。そこで、子どもたちが取り組んだ言語活動に学んだことを発表する場を提供しようと「リーディングシアター2012」を企画しました。それぞれの成果を文学館の大ステージで発表し、聴き合うことで互いに刺激となり、児童・生徒だけでなく保護者や指導してくださった先生方からも予想以上の反響をいただきました。「すごく緊張したけれど、やり終わった時もう一回やりたいと思った。」「やり遂げられてうれしかった。」「ぜひ、来年も実施して欲しい。」という参加者の声。「聞いていて感動し、自然に涙がこぼれた。」「これを機に、子ども自身が変わっていくという実感を持った。」という保護者からの声。皆さんの声に励まれるように、内容をさらに充実させ、今年度の計画を進めています。

○高校生のための創作教室

高校生を文学の世界に誘うことをめざし、現役

の先生方が直接指導してくださる「高校生のための文学創作教室」を開催しています。昨年度は歌人の三枝浩樹先生をお招きし、短歌教室を開きました。教室では、参加した高校生が実際に短歌を作り、歌会を体験しました。先生から実作の手ほどきをいただき、同時に、作品の読み方をご指導いただき、互いに活発な意見を交換し合いました。高校生の、一つひとつの言葉を大切にしようとする姿に胸が熱くなりました。先生からは、各人の作品に丁寧なご指導もいただき、生徒たちの創作意欲はますます高まったようです。

今年度は、作家水木亮先生のエッセイ教室を予定しています。



○大人も参加できるワークショップ

子どもたちと大人が一緒に参加できる伝統芸能のワークショップを開催しました。歌舞伎ワーク



◆問い合わせ先
山梨県立文学館
電話 〇五五―二三五―八〇八〇
FAX 〇五五―二二六―九〇三二

ワークショップでは歌舞伎俳優の市川喜昇先生、狂言講座では狂言師の高野和憲先生という、現在第一線で活躍中の先生方に直接解説・指導をいただきました。講師と受講者が同じフロアでふれあいながら進める体験活動は貴重な体験になり、参加者は今まで以上に伝統芸能に親しみを感じたようです。

皆さんと文学をつなぐ架け橋、それが文学館の役目です。昨年度は、他にも、新田小学校六年生によるキャプション作りやアウトリーチなどを実施しました。館報89号でその詳細がご覧いただけます。

ミュージアム甲斐・ネットワーク

～県内博物館等の連携による活動の活性化と利用者サービス向上を目指して～
— 学術文化財課 —

県内の美術館、博物館等が、相互に連携して活性化を図り、活動の充実や利用者へのサービスの向上を目指す「ミュージアム甲斐・ネットワーク」会員施設の紹介をします。

笛吹市青楓美術館（笛吹市）

笛吹市一宮町にある「笛吹市青楓美術館」は、ぶどう畑と桃畑に囲まれた、とてもどかな環境の中に建てられており、明治から昭和50年代まで活躍した津田青楓（つだせいふう）の作品を500点以上収蔵しています。年に2回の展示替えを行い、今回は「20世紀最後の文人画家～心で遊ぶ津田青楓～」のテーマで油絵や日本画、書など60点を展示しています。

文芸にも秀で、河上肇、西田幾太郎などの哲学者や夏目漱石など多くの文学者、文化人との交友も深く、豊かに磨き上げられた精神の上に、多くの作品を残した青楓

の魅力に迫る展覧会となっております。

住 所 笛吹市一宮町北野呂3-3
電話番号 0553-47-2122
休 館 日 月曜日と祝日の翌日、年末年始
開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入 館 料 小中学生100円、一般300円
（20名以上は、小中学生80円、大人200円）
U R L
<http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/kanko/shisetsu.php?id=28>



笛吹市青楓美術館外観



2階展示室



夏目漱石の四女を描いた作品「愛子像」

河口湖ミュージズ館・与 勇輝館（富士河口湖町）

河口湖ミュージズ館・与 勇輝館は、平成5年6月に創作人形作家の第一人者、与 勇輝（あたえ・ゆうき）の作品を常設展示する美術館として開館し、今年で20周年を迎えます。

開館20周年を記念し、6月19日まで記念展（第一部）「与 勇輝展 いのちきらめく」を開催しており、6月21日からは、記念展（第二部）「与 勇輝展 追憶～激動の昭和」や「あなたが選ぶ 与 勇輝作品展」を開催する予定です。

古い木綿を素材とし、ボタンや草履などどんな小さな物までも、全て自らの手作業で丹念に仕上げられ、精緻な技法から生まれるその作品は「布の彫刻」と賞賛されています。

日本のみならず世界中の人々を魅了しつづけている与 勇

輝の「人形芸術の世界」をどうぞご覧ください。

住 所 南都留郡富士河口湖町小立923
電話番号 0555-72-5258
休 館 日 木曜日、展示替日（要問合せ）、年末
※6～8月の木曜日は開館（2013/6/20のみ休館）
開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）
入 館 料 大人・大学生600円、中・高生400円、
小学生以下無料
U R L <http://www.musekan.net>
駐 車 場 無料（バス3台、乗用車20台）
交通案内 富士急行線「河口湖駅」よりレトロバス12分



河口湖ミュージズ館・与 勇輝館外観



20周年記念展示（第一部）
「与 勇輝展 いのちきらめく」



20周年記念展示（第二部）
「母さんは？」



らくがき

3学年の主任として
渡辺 和弘

西高で1年・2年と学年主任をしてきて、今年はいよいよ仕上げの3年の主任となりました。3年生となった生徒たちの顔写真を1年生の頃のものとは比べてみると、「だいぶ大人になったなあ」と感じます。それに比べると自分は成長したのだろうかと若干不安になりながらも、気合いだけは負けないでいようと思っています。

年度末の異動で新しい先生方を迎え、学年に新しい風が入りました。今までの西高の流れにそれを加えて、生徒たちのモチベーションを高め、最後の最後まであきらめさせない指導をしていきたいと思っています。まずは部活動と学園祭に対してしっかり取り組み、自分や学校に対する肯定感をもって、今後の勉強に臨むようにさせるつもりです。そのうえで私たち教職員と生徒たちと保護者の皆さんとが相互に協力し合い、補完し合って一つのチームとなり、受験という大きな試練を乗り越えていきたいと思っています。西高ではここ何年も「チーム西高」という言い方で、受験を団体戦ととらえて、学校全体で3年生をサポートしています。今年もその力を最大限に発揮するとともに、生徒一人ひとりに向けて勉強をカスタマイズしていくことで、3年生が希望の進路を切り開いていけるよう頑張ります。

(県立甲府西高等学校)



私の師
手塚 雅仁

特別支援学校の教員となり、あっという間に四半世紀が過ぎてしまった。この間に多くの障害のある子どもたちやご家族の方々とのかかわりを通して、たくさんのごことを学ぶことができた。現在の私があるのも、これまでに会った子どもたちやご家族の方々のおかげであると心から感謝している。

私が特別支援学校の教員を目指すきっかけとなったのは教育実習で出会ったダウン症の男の子であった。はじめはなかなか私を受け入れてくれなかった彼が、4週間のかかわりの中で徐々に心を開き「ちあか（てづか）先生」と呼んでくれるようになった。気持ちがつながった瞬間の喜びと感動は今でも心に残っている。彼からは教師としてのやりがいや教育の魅力、子どもとの信頼関係の大切さを学んだ。以後、学校に勤務し担任となっても、子どもたちからは待つことの重要性や、受容と共感の心、ご家族からは家庭の大切さと無償の愛、地域で生きる際の諸課題など、数え切れないほどの大切なものを教えていただいた。

これまでに学んできた貴重な財産を、今、目の前にいる子どもたちやご家族のために、お返ししていかなければならないと思う今日このごろである。

(県立甲府支援学校)

「わたしたちの研究室」作品を募集します

— 考古博物館 —

県立考古博物館では、「わたしたちの研究室」と題し、小中学生の皆さんの社会科学歴史的分野に関係する研究成果を募集しています。これは、考古学という観点から郷土の歴史を学び、その研究成果を募集、表彰、そして広く発表する機会を設けることで、児童・生徒の考古学に対する興味関心を深める一助とし、またテーマに沿って調べ、考え、まとめるという力をつけることにより、調べ学習からより主体的な研究活動にもつながる機会づくりをするという目的のもとに設けています。

研究は、個人部門と団体部門があり、夏休みの自由研究からクラス、学年で取り組んだ研究成果まで幅広く募集しています。これまでも、縄文土器の文様を読み解きながら当時のダンスを復元、実践した研究や、縄文土器を実際に作って調理実験をし、そこから当時の食生活を考えた研究、親族の土地から出土した土器片から、その地域の歴史を調べてまとめた研究や一年をかけて児童だけ



でなく保護者や地域住民の力も借りて校庭に竪穴住居を復元した研究など、多岐にわたる成果が表彰されています。考古学といってもさまざまな方面からアプローチができるため、学際的な研究も可能です。ご応募いただいた研究成果は、厳正なる選考のうえ表彰し、全ての研究成果を県立考古博物館にて展示します。

今年度は第十一回を迎えることとなり、九月一日から研究成果の募集を始める予定です。詳細は順次お知らせいたしますが、この事業をとおして改めて考古学に親しむ機会を作ってみてはいかがでしょうか。

地域の力を子どもたちに ～小さい学校で大きく育て～

富士川町立増穂南小学校

本校は、富士川町の中部に位置する全校児童が15人の小さな学校です。それだけに地域の方々が学校に寄せる期待は大きく、子どもたちは地域の願いと愛情を受けて、素直にのびのびと育っています。

学校がある富士川町の小室地区は「ゆずの里」として有名で、季節ごとにお祭りが行われています。学校の近くには小室山妙法寺があり、6月下旬には「あじさい祭り」が行われ、子どもたちは、「写生大会」という形で行事に参加しています。また、秋には「ゆずの里祭り」が行われ、子どもたちの合唱を披露します。運動会にいたっては完全に地域と一体となり、地域の体育祭と運動会が一緒になって、行われています。

このように、子どもたちは地域の行事に参加し、地域の方々とふれあい、温かいまなざしの中で、自己肯

定感を高めながら成長しています。

ゆずっ子文化祭では地域の方々が学校に招いて地域に伝わる「民話」を劇化して発表しています。少人数の学校であるからこそ、人の前で自分を表現する経験を積んで欲しいという願いのもと、指導を行っています。表現したことが相手に伝わったときの喜び、練習した劇を精一杯やりきったときの達成感などの経験を、地域の方々の力を借りながら重ねています。

地域のお年寄りもこの行事を楽しみにしてくれています。子どもたちが地域のお年寄りの方々のエネルギーになっているという声も聞かれます。その声がまた、子どもたちの生きる力になって欲しいと願っています。



妙法寺で行われる『ゆずの里祭り』



地域の方を招いて行われる『ゆずっ子文化祭』

こぞ こうなん
拳れよ 嶽南

大学進学から就職まで対応した進学型総合学科高校

県立身延高等学校

平成25年度より総合学科高校として新たにスタートしました。今までの普通科、理数科を継承発展させ、大学進学から就職まで幅広い進路に対応できる進学型総合学科になりました。地域の歴史や文化を大切にしながら、社会の変化にも柔軟に対応できる新しいタイプの学校です。

◇夢の発見と実現を支援

総合学科の特徴である「産業社会と人間」という科目で、生徒は夢を発見し、それを実現するための方法を考え発表します。ここでは、経験豊かな社会人から話を聞き自分の将来を考える「職業人講話」と「職業人インタビュー」、大学の講義を体験する「上級学校見学」、自分の夢をスライドショーにまとめて発表す

る「ディスカバーマイドリーム」等で夢の実現をサポートします。

◇防災キャリア教育

21世紀には避けて通れない「南海トラフ沿いの巨大地震」を視野に入れ、生徒は人生を設計します。常葉大学社会環境学部と連携し、最先端の防災教育で夢の実現をサポートします。

◇学習と部活動の両立で人間的成長を支援

部活動加入率は毎年90%を超えています。男子ソフトボール部の20年連続インターハイ出場や陸上競技部やカヌー部の関東大会出場、美術部の芸術文化祭賞受賞など多くの生徒が活躍し、充実した高校生活を送っています。



「産業社会と人間」の丁寧な指導



生徒会長と各部の部長たち

教職員の資質向上に資する研修会を目指して

総合教育センター 教育指導部

グローバル化や情報通信技術の発展、少子高齢社会への移行などが急速に進展し続ける社会の中では、その求める人材像もまた大きく変化しています。また、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸課題の増加やICT活用等の新しい教育を行うことの要請、そして社会全体の高度化し複雑化する教育を取り巻く状況の中で、学校に期待される役割や教職員に求められる資質能力も様変わる

りをしています。こうした中で、社会を生き抜くために確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成向上を構成要素とする「生きる力」を目の前の子どもたちに育むことは、ますます重要になっていきます。そのような認識のもと、総合教育センターでは、「教職員の資質向上に資する研修会を目指して」をキーワードとして、今まで挙げ

た教育課題を踏まえ、所員の意見も加えて教育現場のニーズや教職員のライフステージに合った研修会を提供できるよう、次の目標を立てて本年度の研修会を企画しました。

(1) 教職員の資質能力の向上に資する質の高い研修会を企画・実施する。

(2) 平素の教育活動に役立ち、指導に活用できる講座内容の構築に努める。

別掲の平成二十五年度研修体系に示すように、様々な分野における研修会を企画するとともに、特に今年度は、教育の情報化に対応した「タブレット活用研修会」の新設を行いました。また、既存の研修会の見直しも行いました。例えば「小学校外国語活動」に関わる二つの研修会の受講対象者を、小学校外国語活動から中・高英語科への連携を図ることが重要であるという考えのもとに全校種に拡大したり、国語に関わる研修会の内容を言語活動を軸にして改編したりするなど工夫を重ねました。初任者研修などの経年研修も、防災教育を盛り込むなど、その内容を現下の教育課題に沿って少しずつ修正しております。

総合教育センターでは、本年度も学校現場のニーズに寄り添った教職員の専門性や資質能力の向上に役立つ、より質の高い研修の提供ができるよう努めてまいりたいと考えています。

本年度も多くの先生方の研修会への御参加をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

平成25年度 研修体系

県内の国公立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に勤務する教職員を対象として実施する平成25年度の研修会及びその体系

総合教育センター研修	基本研修 (必修研修)	① 管理職研修 新校長, 新教頭
		1 教育経営研修
		② 主任等研修 新主幹教諭, 新教務主任, 生徒指導主事・主任, 中・高・特(特給) 新学年主任・新学部長, 新研究主任, 中学校新進路指導主事, 道徳教育推進教師(道徳主任), 新特別支援学級担当, 新特別支援教育コーディネーター, 新防災教育リーダー, 県立学校ネットワーク担当者及びIPCリーダー, 理科・視聴覚実習助手・講師, 小学校経験3年目教員理科指導力向上, 新聞採用品
		2 経年研修
		③ 初任者研修
		④ 五年経験者研修
	⑤ 十年経験者研修	
	⑥ 中堅教員研修	
	専門研修 (希望研修)	3 教科等研修 注: 次の枠内は教科等を示し, 具体的な研修会名は掲げてありません。 国語, 社会, 地理, 公民, 算数, 数学, 理科, 生活, 音楽, 図画工作・美術, 体育, 保健体育, 技術・家庭, 英語, 外国語活動, 高校情報, 産業教育, 特別活動, 総合的な学習の時間, 道徳, 養護(フィジカルケア, 保健室での心のケア)
4 教育課題研修 国際理解教育, 環境教育, 福祉教育, 学校図書館教育, 新聞の教育利用, 食育, 校内研究の進め方, 校内研究の活性化, 校内研究のまとめ方, 地震防災対策, 期間採用教員, カリキュラム・マネジメント, キャリア教育, 学校組織マネジメント, 学校・家庭・地域連携教育, 特別研修		
5 教育相談研修 いじめ・不登校に向き合う勇気づけの学級・学校づくり, 学校で取り組む不登校児童生徒の理解と対応, 心の健康教育としてのストレスマネジメントを学ぶ, ストレスマネジメント技法を身につける, 教育相談における基礎力を学ぶ, 教育相談における実践力を養う		
6 相談支援研修 関係機関との連携		
7 特別支援教育研修 特別支援教育専門, 心理検査法, 特別支援教育の授業づくりⅠ～Ⅲ, 通常学級における特別支援教育, 特別支援教育課題		
8 情報教育研修 情報セキュリティ・ネットトラブル対応, 個人情報及び著作権の基本, メディア・リテラシー, タブレット活用, 電子黒板活用, ワゴンプロジェクト活用, はじめてのホームページ作成, プレゼンテーション基礎(PowerPoint2010), 成績処理のためのExcel2010活用, 小中校務処理のためのExcel2010活用, デジタル教材作成のためのPowerPoint2010活用, 静止画像の加工と編集のためのデジビタチャーター, デジタル教材作成のためのFLASh, ビデオ教材作成のためのPremiere活用, デジタル素材作成のためのフリーソフト活用, マクロ(Excel VBA)基礎, データベース基礎(Access2010), ネットワーク基礎, サーバー構築基礎(Windows), 県立学校PCリーダーフォローアップ		
9 外部共催研修 注: この研修は外部公的機関との共催研修です。 理科実験工作, 身近な自然の指導法, 体験で学ぶ火山, 環境とものづくり, 国際協力NGOセミナー, 学校とミュージアムの新しい関係, 山梨の考古学と産業文化財活用		

新委員長に 高野 孫左之門氏が就任

県教育委員会では、小林久委員長の任期満了に伴い、後任の第七十六代委員長に高野孫左之門氏を選任し、三月二十五日に就任しました。



新委員長
高野 孫左之門

平成二十五年度は、五か年計画「やまなし教育振興プラン」の最終年となり、その仕上げ・検証及び次期計画策定を図る節目の年となります。

次代を担う世代の育成は「家庭と学校」「学校と地域社会」それぞれの関係の中で成り立ち、その関係の在り方が様々な事象を生み出しているものであり、何れも、人と人との関わりが生み出す関係であることはいまでもありません。

児童・生徒が社会人となるまでに「他者を思い他者と共に」との意識が醸成されること、そのためにどのような経験と知識を身に付けることが望まれるのか、変化する社会環境を踏まえた検討の上にプランが策定されることが求められていると考えます。

また、地域社会の豊かさを高める分野として、文化・芸術やスポーツ分野における多様な活動を活性化支援することも教育委員会の重要な役割であることを認識し、変化する環境の中での教育委員会委員長として、民間経済人としての経験と感覚を活かした役割を果たしてまいりたいと考えております。関係各位皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

新委員に白川 太氏が就任

県教育委員会では、小林久委員長の任期満了に伴い、後任の教育委員として白川太氏が知事から任命されました。新委員の任期は平成二十五年三月二十五日から平成二十九年三月二十四日までです。



新委員
白川 太

今「教育」という大変重要な分野に関わることになり気の引き締まる思いでいます。

私は教育関係の経験が全く無い素人ですが、現在3人の子育て中でもあり保護者としての立場から、又、教育の専門家でない一般市民の見方から、そして企業経営での学びから意見の発信をしていければと思っています。

現在、子供にとって一番身近にいる先生は大変疲弊していると聞いています。先生が情熱を持って子供を指導できる様な環境づくりは教育委員の重要な役目だと思います。

それには職員の皆様と一丸となり、学校・家庭・地域との連携を一層強め、皆で力を合わせて活動する事が必要です。

人を愛する心を養い、「山梨で育って良かった。」「山梨で学べて良かった。」と心から思える。それが私の理想であり今の心境です。どうぞ宜しくお願い致します。

三枝 昂之さんが県立文学館の館長に就任しました — 学術文化財課 —



三枝 昂之 文学館長

県立文学館の館長に、甲府市出身の歌人 三枝昂之さんが4月1日付けで就任しました。歴代館長で本県出身者は初めてとなります。

三枝新館長は、「故郷に貢献できる大事な機会をいただき、重責を感じている。まずは飯田蛇笏・龍太父子という大きな財産を柱に日本の短詩型をより豊かにする役割を果たしたい。そして、

固定的な文学作品との出会いではなく、多様な出会いと再発見の場を提供し、文学をより身近に感じて

もらえるような文学館にしていきたい。」と抱負を語っています。

【三枝館長プロフィール】

昭和19年生まれ。甲府市出身。歌人・文芸評論家。地元の山梨日日新聞の山日文藝の短歌の選者、宮中歌会始の選者としても活躍中。早稲田大学入学と同時に早稲田短歌会に入会。昭和53年に馬場あき子主宰の結社誌「かりん」に入会。平成4年には歌誌『りとむ』を創刊(現在、主宰・発行人)。平成18年には歌書『昭和短歌の精神史』で、第17回斎藤茂吉短歌文学賞、第56回芸術選奨文部科学大臣賞、第14回やまなし文学賞等を受賞。

平成23年に紫綬褒章を受章。

山梨の文化財

県指定有形文化財（考古資料）

海道前C遺跡土坑出土品（山梨県立考古博物館）

（平成二十五年一月十日指定）

海道前C遺跡は北杜市高根町箕輪字海道にある縄文時代中期（約四千五百〜四千年前）の集落遺跡です。この遺跡からはたくさんの縄文時代の土器や石器などが発見されましたが、中でも第六十七号土坑という穴の中から発見された土器や石器は縄文時代の人々の「思い」が表われているものとして注目されます。

特に人面装飾付土器（高さ約三十八センチメートル、写真左上）は、「出産文土器」とも呼ばれ、胴体の中央部分の遠景の文様は母体から子供が産まれ出てくる瞬間を表わしているものと考えられています。また、同じ穴の中からは、男性器をかたどった石棒（長さ約二十一センチメートル、写真右下）も発見されています。



海道前C遺跡土坑出土品

出産の様子を表わした土器と男性器をかたどった石棒が同じ穴の中に収められていたことには、縄文時代の人々の子孫繁栄や豊かな実りに対する強い思いが表われているものと考えられており、当時の信仰のあり方を示す貴重な資料であることから、これらの資料は、有形文化財に指定し、今後大切に保管・活用していくことになりました。

海道前C遺跡土坑出土品は、山梨県立考古博物館で見学することができますので、皆さんも縄文時代の人々の思いにぜひ触れてみてください。

主な行事予定

県立美術館

特別展

「近代自然主義絵画の成立 オランダ・ハーグ派展 バルビゾンへの憧れ、ゴッホの原点」
7/13〜8/25

県立博物館

企画展

「山梨の近代人物と鉄道」
7/20〜9/2

県立考古博物館

夏季企画展

「日本一の富士山展」
7/13〜9/1

県立文学館

特設展

「あそぶぜーかいけつソロリのおたのしみ大きくせん〜原ゆたかとソロリのなかまたち〜」
7/20〜8/25

表紙を飾る



河口湖南中学校組合立
河口湖南中学校

第2学年
さとう たすく
佐藤 扶

作品タイトル「富士山」

富士山を描こうとした時、最初に思い浮かんだ情景は、「秋」でした。なぜ、秋かというと、僕自身が秋という季節が好きで、紅葉した木々と富士山がきれいだった思い出したからです。

絵の下書きが終わり、絵の具で色をつけようと思い、富士山の周りの「色」をよく観察しました。すると、周りの山々に、少しだけ、緑でも影の黒でもない、紅葉の色が見えてきました。だから、その色のをせた富士山を描くことができました。

描き上げた絵をもう一度見直すと、自分が生まれてからずっと近くにあった富士山を自分の見たまま素直に描けたことがよく分かりました。そして、僕はやっぱり富士山が好きなんだな、と思いました。だからこうして素直に筆をとって描けたと思います。

いつまでも、この雄大な富士山を見ていたいです。

指導者：荻野 緑子 教諭

「声かけ あいさつ」みんなで実践!!

◆教育に関する疑問、質問等がありましたらお気軽に E-mail 又は FAX して下さい。

アドレス: kyouikusom@pref.yamanashi.lg.jp FAX: 055 - 223 - 1744

◆教育やまなしのバックナンバーがインターネットでご覧いただけます。

URL: <http://www.pref.yamanashi.jp/kyouiku/46150769857.html>